

雷の子

カトリック町田教会
町田市の中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



わたしの羊はわたしの声を聞き分ける。
わたしも彼らを知っており、彼らは
わたしに聞き従う。 わたしはわたしの
羊に永遠の命を与える。 ヨハネ10.27-28

穏やかな心で、注意を怠らず

主任司祭 林 正人

最近触れた話題を二つ。
ある登山家が登山の自粛を
ブログで呼び掛けると、某有
名実業家が「(主張が) 頭悪
すぎて笑う」と書き込み。す
ると登山家は、「一人だけに
でも、笑いを提供できてよ
かった」と返答。
テレビを見ていると、こ
れも有名な野球評論家が、
「ずっと家にいるとイライラ
しませんか？」と司会者に問
われ、「しません。私らの時

代は、防空壕で何日も過ごし
ているから」と即答。
— かような物言いが適当か
分かりますが、少しだけ心
が和みました。
今、人間は、新型コロナウ
イルスにあらゆる行動を制限
され、唯一自由になる「口」
から、自身のささくれ立った
心情を流露する言葉を、巷に
溢れさせています。「ダレの
せいだ!」「バカなことしや
がって!」「ダメだ、そんな

互いに労り合い、励まし合
いながら、この難局を乗り越
えて行くためには、「穏やか
な心」を保つことが大切で
す。ユーモアがあっても良い
でしょう。「悪い言葉」には
「ユーモア」を返すのです。
前述の登山家さんのように。
ただし、心に「余裕」は必
要ですが、「緩み」があつて
はなりません。一人ひとり、
注意を怠らず、責任をもって
ウイルス感染防止に励みま
しょう。
先日、新聞のコラムの文章
に、「へーっ、そんなこと書
いてあったかしらん」と思い
久々に漱石を読み返してみま
した。すると、コラムに引用
されていた箇所が、本の中程
に出てきました。
《戦争に出た経験のある男に、
「そんなに隊のものが続々斃
れるのを見ていながら、自分
だけは死なないと思ってい

「過ぎたるは猶及ばざるが如
し」は、コロナ感染防止対策
には適用できないのです。
この拙文が皆様の御目に触
れる頃、世間がどうなってい
るのか分かります。です
が、少なくともコロナ流行前
の状況に、完全に戻っている
ことはないでしょう。私たち
は「新しい生き方」を求めら
れています。その中で、変わ
らぬ信仰を保っていくことが
できますように。
共に、『ペトロの手紙一』
五章八〜十一節を味わいま
しょう。

遅ればせながら……

運営委員会議長 安藤 康弘

皆さん、こんにちは。運営
委員会の安藤です。まだ多く
の皆さんがご存じではないで
しょうが、今年度の運営委員
会の議長になりましたので、
この場をお借りしてご挨拶し
たいと思います。
二月十六日に無事に信徒総
会を行うことができましたが、
二月二十五日には東京教区よ
り公開ミサ等の中止の指示が
あり、灰の水曜日のミサを最
後に現在もミサ中止措置が続
いています。
ミサ中止の指示が出た際に
は、本当に多くの信者さんが
いろいろな手段を使い、教会

当面ミサ中止の状態が続く可能性は大きいと思われるなか、「少しでも信仰生活の支え」になるものの提供を望む声は少なからずあります。これについては神父様に相談し、何かアイデアはないか考えているところです。

皆さんには「家に居ましよう」と言っておきながら、教会の維持のために活動をして頂いている方もいます。典礼委員会（葬儀担当）、財務委員会、広報関係の方々については、ご尽力に対し本当に感謝しています。

教会を活動で支え続ける人、外出を自粛し家で信仰生活を送っている人、それぞれ立場が違っても、ふたたび教会でも祈りを捧げるため、頑張っていることには変わりありません。

今回の事態で、生活に多大なる影響が出ている人も、勉強に充分に励めない子供や若者たちも、直接病いと闘っている人もいるかもしれません。「今まであることが当たり前と思っていることが当たり前ではない」とことごとく初めて初めてなくしたものの価値がわかる」ということを、改めて痛感しました。私も含め、人間一人一人の力は本当に微力です。今こそ「神に祈るとき」ではないでしょうか。

ペロニカの花
チャリティーコンサート

高尾 敬子

去る二月九日、天満敦子さんによるヴァイオリンコンサートが聖堂で開催されました。

主催した「ペロニカ苑ともの会」は、三十年前小さな福祉作業所だったペロニカ苑を応援するために、当時の町田教会主任司祭、大倉一美神父様の声掛けで発足した後援会です。その後、ペロニカ苑は法人化され社会福祉法人「地の星」になりましたが、その維持、発展のために、精神的、経済的援助を続けています。

「ペロニカの花チャリティーコンサート」八回目の今回は、天満敦子さんに是非町田教会でお願いして、快くお引き受け頂いたものです。

当日は、雲ひとつない快晴。満席の会場に天満さんのヴァイオリンが響き渡ります。優しく、力強く、時には絹糸のように繊細に…。前半は海外の作品。天満さんの代名詞になっている「望郷のバラード」は圧巻でした！後半は日本の歌曲が演奏され、その調べに心ふるえ涙する方も。

プログラム終了後には「地の星」のテーマソングでもある聖歌「ちらんよ空の鳥」を全員で合唱。ストラディバリウ

本年度の
運営委員の
みなさん



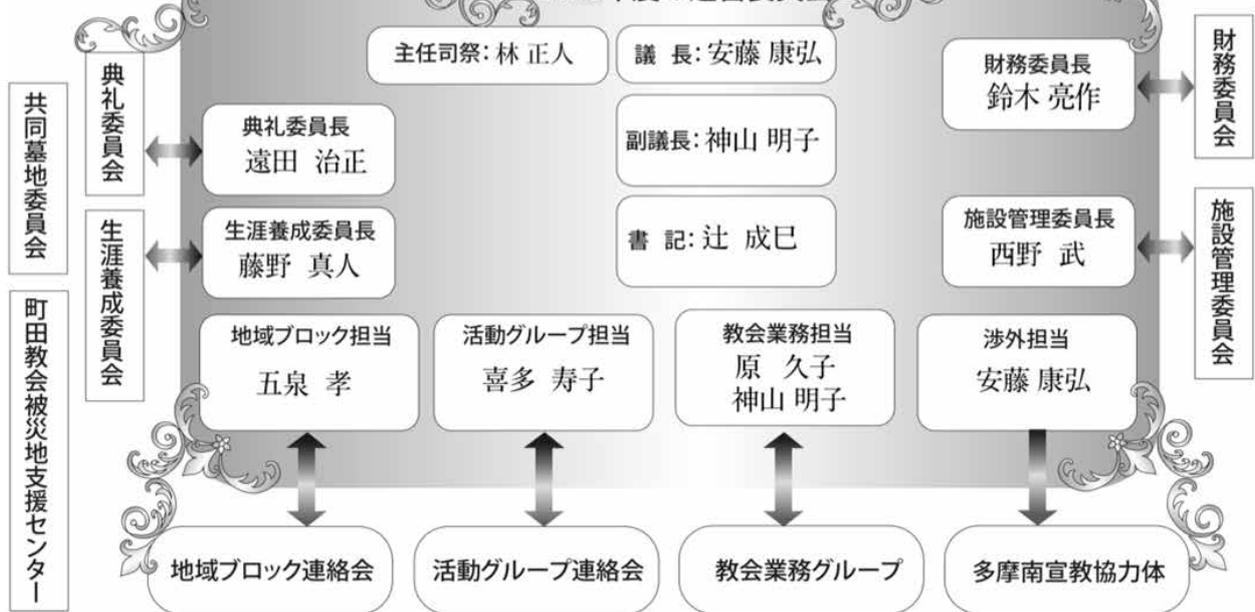
その伴奏でです！感激でした。天満さんの素晴らしい演奏、チャイミングで温かいお人柄に感動し癒された、充実のひと時でした。

林神父様はじめ、チケットの販売や当日の会場設営、案内などにご協力くださった多くの方々、そしてご来場の皆様、本当にありがとうございました！（チケット完売のため、入場をお断りした方には心よりお詫び申し上げます）

実はこのコンサートのたった三週間後に、教会はコロナウイルス感染拡大防止のためクローズされてしまいました。何

(5頁に続く)

2020年度の運営委員会



2020年 カトリック町田教会 実行体制 (I)

典礼委員会 (典礼委員長 兼 運営委員: 遠田 治正)

グループ	連絡担当	
聖歌奉仕	遠田 治正・鈴木 恭江	
奉納・朗読手配	木原 桂子・小溝 茂雄	
典礼の花	乙戸 紀代	
香部屋	伊藤 真理	
ミサ進行	小林 彰・伊藤 宏	
聖体奉仕	遠田 治正	
侍者	島田 和人	
冠婚葬祭	聖歌	丸井 千尋
	結婚式	高尾 敬子
	葬儀	伊藤 真理

財務委員会 (財務委員長 兼 運営委員: 鈴木 亮作)

係	業務内容	担当
財源の確保	財政の管理	鈴木 亮作
収入管理	ゆうちょ銀行	林 茂
	銀行	林 神父
	現金	定光 孝子
支出管理	現金出納(支払)	田澤 三郎
	ゆうちょ銀行振込	鈴木 亮作
	銀行振込	坂井 剛・鈴木 亮作
データ管理	会計・決算データ管理	田澤 三郎・奥村 耕平
	名簿データ管理	橋村 元雄
資産管理	資産・備品管理	奥村 耕平
監査委員	藤波 由香・立木 欣吾	

施設管理委員会 (施設管理委員長 兼 運営委員: 西野 武)

係	業務内容	責任者	委員
施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ●中長期大規模改修及び修繕 ●小規模改修及び修繕・定期修繕 ●教会建設～建設後の教会施設・植栽の維持管理及びメンテナンス 	西野 武	荻津 兆秀・池田 克久・大木 雅信 藤波 勲・水本 幾男・松村 潔 林 神父

生涯養成委員会 (生涯養成委員長 兼 運営委員: 藤野 真人)

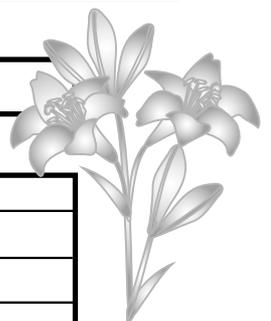
係	業務内容	責任者	委員
生涯養成	信徒の育成・信仰の理解 霊性を養う	藤野 真人	水野 貴久子・林 佳香・藤波 由香 淵 敦子・安 京和・廣田 和之 高田 恵一・千種 ジェシカ・渡辺 竹夫
教会学校	土曜学校	吉田 光子 嶋田 弘志 池田 幸織	保護者をはじめとする皆さんで構成
	日曜学校	《英語》第2日曜日	田中ジェニファー・阿部エスペランサ
		《日本語》第4日曜日	三須 真理・坪山 明美・原 祥代
	中高生会	島田 和人	
たまごの会 (未就学児のお話会)	小林 由里子	青木 重子・佐藤 千代子・佐藤 玲子 皇 恭子	

共同墓地委員会 (共同墓地委員長: 安藤 康弘)

委員	小溝 茂雄・鈴木 節子・池田 幸織
----	-------------------

地域ブロック (議長: 吉田 順・副議長: 大田 知希・飯島 葉子 / 運営委員: 五泉 孝)

ブロック	連絡員	ブロック	連絡員
第1	藤田 耕一郎・藤田 幸子	第6-1	梅原 章子・武藤 恵子
第2	加藤 かつみ・武井 洋子	第6-2	米田 緋紹子・樋口 真由美
第3	山口 みどり・横山 恵子	第7	西野 武・吉田 順
第4	橋本 紀子・大田 知希	第8	小吹 順子
第5	飯島 葉子・宇都宮 幸子	第9	澤邊 麻里・四条 慶子


活動グループ

世話人: 丸井 千尋・神谷 富雄 / 運営委員: 喜多 寿子

2020年

カトリック町田教会 実行体制 (Ⅱ)

教会業務担当 (運営委員: 神山 明子・原 久子)

係	連絡担当	構成員
案内	田澤 三郎	山口 広文・立木 欣吾・赤瀬 亮一・大木 雅信 瀧口 裕行・定光 善吾・鈴木 亮作・小溝 茂雄 辻 成巳・クルクラスリア フェルナンド ラクマル 安藤 康弘・荻津 兆秀・奥村 耕平・中 永一
ミサ案内	神谷 富雄	佐藤 千代子・佐藤 和子・水野 貴久子
日曜日受付 (転出入)	山口 静子	定光 孝子・田村 ゆり子・蛭町 真理・舟ヶ崎 美英子 小林 由里子・名倉 理恵・古藪 光子
平日受付	水野 貴久子	三上 昌子・水野 雄一・横塚 千枝子・横山 真弓 佐藤 由紀子・田中 力・大迫 祥子・大久保 珠美 久出川 二郎・秦 ゆう子
土曜日受付	山口 静子	木村 洋子・鹿内 容子・高尾 敬子・林 佳香
名簿 (教会原簿)	橋村 元雄 林 神父	富樫 和美
雷の子	中原 毅志	池永 廣美・小林 洋子・堤 貞夫・大久保 豊
IT 推進	遠田 治正	西野 武・辻 成巳
ウェブサイト	林 神父	丸井 千尋・遠田 治正
週報	高尾 敬子	林 佳香・丸井 千尋・笠原 恵・山口 広文
月報	佐藤 玲子	
図書	横塚 千枝子	宇治 淳子・井上 淑子 石井 節子・三上 昌子・秦 ゆう子
聖品販売	守田 紀美江	小池 裕子・橋本 愛子・中山 恵 池永 廣美・小林 洋子・鈴木 節子・秦 ゆう子

各種対外活動担当 (運営委員: 安藤 康弘)

担当	業務	業務内容	担当	担当メンバー
渉外	教区関係	教区宣教司牧評議会	伊藤 宏	多摩南宣教協力体 (成城・町田) の 信徒より選出
		一粒会	(成城教会)	
	宣教協力体 関係	多摩南宣教協力体連絡会	安藤 康弘	
	その他	施設利用 外部団体	林 神父	
その他				

町田教会被災地支援センター (センター長: 林 神父)

業務内容	事務局長	参加メンバー
国内外の災害救済のために必要な援助活動	立木 欣吾	その都度

の恐れも迷いもなくコンサー
トが開催できたこと、今から思
えば奇跡でしょうかありません。
神様に感謝！そして以前の
ようにミサを祝える日が一日
も早く来ますように！

ベロニカ苑の近況

四月九日に職員の一一人に感
染が確認されましたが、この
職員は味覚異常を感じた三月
三十日から出勤を自粛し、そ
の後他の職員、利用者には異
常がないので四月十三日から

特集 教会に集えない今

「ミサ・行事の中止」措置
二月末から始まったこの措置
は当面のあいだ継続します。

中止事項

- 公開ミサおよび人が集まる
全ての会合。
- 受付業務、掃除奉仕など。

諸行事

- 堅信式は来年以降に繰り延
べ、初聖体、洗礼式は公開ミ
サ再開後まで延期。

その他

- 司祭の病床訪問を希望され
る方は、まず入院・入所して
いる施設の許可を取り、ある
いは同居家族の同意を得た上
で教会に電話をしてください。
- 個人的な聖体訪問は可能で
すが、外出を避ける観点から
も極力自宅でお祈りください。
(詳細は教会ホームページ)

時間短縮などして開所してい
ます。地の星と当該職員の適
切な判断が感染拡大を防いだ
と思います。

ただ、利用者の利用率は
四十％程度だそうで、これは
四十％しか支援費が入ってこ
ないということですので、やは
り経営的には厳しい状況にな
るのではと心配しております。
こんな時こそ「ともの会」
の出番です。皆様のご支援に
心から感謝いたします。

一村 弘幸

私は、ミサに与るといふこ
とは当然のことと思っていま
した。この当然であるが故に、
当然でなくなった時、当然と
してきたミサのありがたさに
気づいたのでした。

ミサは、「三密」に最も近
いものですから、中止になる
のも当然のことと思えますが、
この場合の当然も、思いもし
ない当然のことと思わざるを
得ないのでした。

去年は二一六日教会を訪問
して二七〇回ミサに与りまし
た。教会の訪問回数とミサの
回数が一致しないのは、一日
に欲張って複数回ミサに与っ
たためです。
新型コロナウィルスは、私

たちの信仰生活に、当然の尊
さを教えてくれたような気が
します。当然のありがたさに
感謝です。しかし、試練はな
んと大きなことか。

大久保 珠美

以前から、人影のない御聖
堂で一人御聖体の前で祈るこ
とが好きでしたが、それさえ
も家で…と言われるのは辛い
です。

一日一日を大切に過ごそう
と思っております。朝目覚め
ると、すぐ一人で微笑むよう
にしています。少し明るい心
になれます。祈りあえる習慣
は、何よりの宝です。

特別 奇稿 所感雑感

教区本部法人事務部長・神田教会主任司祭 高木 賢一

教会は、現在、大変な状況が続いてい
ますが、皆さん、いかがお過ごしでし
ょうか。

ところで、「大規模な災害や天災によつ
て、それまで、巧みに隠されていた社会
構造の矛盾が暴き出される」といった旨
の言葉がありますが、大変、意味深です。
即ち、今回、為政者たちの御為ごかし
な一連の対応を見るにつけ、この感染拡
大には、やはり、人災的な側面が色濃く
浮かび上がっているように思われてなら
ないからです。

ただ、そういった姿勢に対する憤りや
総括を等閑にすべきではないとしても、
この騒動の中で、私は、バビロン捕囚の
憂き目にあつたユダヤ人たちが、約50年

復活祭に、湯沢台の聖体奉
仕会から美しいカードが届き
ました。霊的聖体拝領の祈り
を、毎日唱える喜びに溢れて
います。イエズス・マリア・
ヨゼフと聖家族に呼びかけま
すと、自然に微笑みが広がり
ます。

久保田 伸

毎週、ネットで大司教区の
ミサにあずかっています。
その中で、私の心に響いた
説教の言葉です。

● 4月5日受難の主日ミサ
私たちは歴史の転換点に
立っている。コロナ禍の後は
これまでと違う世界になる。

小溝 茂雄

嵐の船に乗り合わせたもの
として、連帯し、互いに助け
合い、支え合って行く道を求
めましょう。
● 4月12日復活の主日ミサ
インターネットのミサは選
択肢が増えたのではなく、教
会が皆さんの生活の中に入っ
てきたのだ。教会に集ったと
きだけのパートタイムの信仰
ではなく、フルタイムの信仰
を持ちなさい(実に耳に痛い
言葉です)。

未曾有のコロナ禍で世界の
医療は逼迫し、医療関係者が
懸命の奮闘を日夜続けている。

の後、エルサレムへの帰還が叶い、神殿
を再建し、元の生活に戻っていく様を描
いているエズラ記を折に触れて思い出し
ては、何気ない日々の大切さ、及び、そ
の何気ない日々を守り続けていくことの
大切さと同時に大変さを、改めて、噛み
締めているところです。また、もう一方
で、こういった四旬節・復活節の過ごし
方も、これからの自分の信仰生活に活か
されていくように思っている次第です。

私たちは、「昨日」と同時に「明日」
に眼差しを向けることができるからこそ、
「今」という時に生きる自分という私た
ち本来の在り方を見失わないでいられる
のでしようし、それは、信仰の恵みなの
だろうと思うのです。

そんな中、医療従事者やその家族への差別や嫌がらせのニュースが流れてくる。海外では、医師に石を投げつけて追いついて、医療施設を破壊している。

戦前の日本に於けるハンセン病に対しても同様であった。患者達は過酷な仕打ちをうけ、寄り添う人たちも忌避された。昨年、神山復生病院で昔の記録映画を見た。そこには療養生を送る患者達とお世話する聖職者達の姿が写し出されていた。まさに、信仰のものと共同体、そのものだった。

帰りに村の共同墓地に寄った。その一角に、患者達の墓が村人の墓と並んで、静かに眠っていた。雨の降る中、そこが聖地に見えたことを、「自粛、自粛」と傍観者でいる自分を感じながら、思い出している。

鈴木 亮作

教会ミサのないときの過ごし方
①映像配信のミサを見る
お祈りと司祭説教が得られる。集中でき、日曜日の認識となる。

②自分へ問いかけができる
それまでの生活の問いかけ、自分のこれからの進み方など、前向きな姿勢の確認をする。

③健康維持を考える

出来る範囲の運動をする。里山散策と土手散歩を行う。快食・快眠に務める。

④祈りの時間を持つ
患者や医療関係者への想い。落ち着いた時間の中で感謝。食事の時間の大切さを知る。

⑤前向きに考える
状況を受け容れる寛容さを持つ。フェイク情報に惑わされない。常に神様は見ていると認識、常にポジティブに考える。

立木 欣吾

いつもの年なら、信徒ホールでパーティ会場の設定をしてから、教会の玄関で笑顔の皆さんが来るのを待っていました。

今年は家でパソコンの動画配信を見ながら御復活を祝いました。世界中の信者の方が同じように御復活を祝っていると考えると、不思議と寂しさはありません。生きるときは生き、死ぬときは死ぬ、それは神様が決めることだと思います。

手洗いやうがいをして、外出はほとんどしない等、自分でできることはしっかりやっけて、神様に祈るだけです。こういう時だからこそ、差別意識を持たないように、また、病気になる人にこそ優しくできるようにと、長期戦にな

りそうなコロナとの戦いに自らを戒めています。

千種 ジェシカ

カトリック教会を閉鎖することは苦渋の決断ですが、信仰共同体の安全のためにそれだけの価値があり、それによって感染者数を減らせるのだと思います。

考えてみれば、教会の司祭はスーパーマンではなく、私たちと同じ人間です。彼らも感染する可能性があります。彼らは私たちのために祈ってくれますが、感染を止めることはできません。

一方で今回の難局で神は、今の社会を嘆き、真の心の豊かさを持つこと、相手への思いやりを持つこと、我慢することなど、私たちに大切なことを気づかせようとしてのことではないでしょうか。

たぶん、神は、今回のコロナウイルス感染と世界の混乱のなか、知恵を出し合い、助け合い、協力し合い、この難局を乗り越えていくことを願っていると思います。

この神の試練を受け入れ、この感染の終息を祈り、この難局を皆さん一緒に乗り越えて行きましょう。



名倉 理恵

外出禁止のイタリヤで人々が自宅の窓辺やベランダから声を合わせて歌っている様子が伝えられました。

2月下旬から私も外出を自粛して過ごしています。改めて人間の弱さや人生のままならなさに思いを巡らせながら、忍耐して待つ日々です。

一方、暖かくなり時間があるので気長に大掃除をしています。きれいになると清々しいのはもちろんのこと、今の私にとつては心の中が整理され思わぬ気づきを得られるというプラスの効果もあります。

さてこの状況の中、私が手元に置いているのは『ゴスペル・ミュージック』(いのちのことば社)という昭和のなつかしい歌集です。悩み多かった中学・高校時代に双子の姉と歌っていた歌は、今歌ってもますます心に染み、そのまま私の祈りになっています。

パウロ 廣田 和之

秘跡に与かれない日々が続いていますが、信仰の助けとして、教皇様や各教区の司教様方はライブストリームを配信して下さっています。とりわけ私にとって印象的だったのは、三月二十七日に教皇様が雨のバチカン広場で一人祈

られ、世界中の信者に『ウルビ・エト・オルビ』の祝福を与えて下さったことです。

東京ドームミサでの歓喜に笑顔で応えるパパ様と一人祈るパパ様のお姿は、エルサレムの入城とゲッセマニで祈るイエス様のお姿を彷彿とさせられました。恵みに感謝し、この苦しい状況を捧げてまいりたいと思います。

水野 貴久子

教会でのミサや活動が休止となり、心細く不安に思う中で気付いたことがあります。それは教皇様が話された「パートタイム信者」とは私のことだと。

昨年、生涯養成委員会は病氣や介護で教会へ来られない方のために「主日のミサなどの映像配信」を菊地大司教に提案しました。計らずもコロナ感染防止のために実現しました。映像を通して私も信仰共同体の一員として、沢山の祈りに毎日支えられていることを実感し感謝しています。日々の出来事や出合いを信仰の目で見て、神様のみ旨を悟り、おこなえる「フルタイムの信者」になれますよう祈っています。

信者動静はお休みします。できるだけたくさんの方の信者のお手元に届くことを祈りつつ。